実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 7 年度
助成団体	特定非営利活動法人生涯スポーツ振興会
事業細目名	新規会員獲得事業
事業名	アプルスゴルフライフコース体験会
助成金額	572,000 円

スポーツ団体スポーツ活動助成（新規会員獲得事業）で特定非営利活動法人生涯スポーツ振興会が運営する総合型地域スポーツクラブ apls(以下、アプルス)が行っている「アプルスゴルフライフコース体験会」の実施状況について調査を行いました。

アプルスは、現在、約 600 名の会員が在籍しており、山形市を中心に活動を行っている総合型地域スポーツクラブです。これまでにも、平成 14 年度からスポーツ振興くじの助成金を活用し、クラブハウスやマイクロバスの設置、スポーツ大会・教室に関する助成を受けています。令和 7 年度は、施設をより効果的に活用するため、新規会員獲得を目的としたゴルフ体験会を実施することから、助成金の申請を行ったとのことです。

調査当日は、アプルスが所有する屋内練習施設（アプルスプラス）にて体験会が実施されており、参加者 5 名、指導者 2 名が配置されていました。体験会では、アプルスが実施するゴルフ教室の PR をはじめ、くじ助成により導入された弾道測定器を活用している様子が見られました。

■助成の意義

アプルスは、スポーツを通じた健康づくりや、特にシニア層の居場所づくりを目的として屋内多目的コートを活用した活動を行ってきたそうですが、施設がゴルフ練習にも適していることが十分に周知できていないという課題があったそうです。

くじ助成を受けたことで、参加料を 1 名あたり 500 円での開催を予定していた体験会を無料で実施することが可能となり、施設の新たな活用方法を地域に広く伝える機会が得られたと伺いました。これにより、新規会員の獲得や施設の空き時間の有効活用が期待されており、クラブ全体の運営にも好影響となっているとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

アプルスでは、活動状況を SNS で発信することで、クラブの取り組みを広く周知し、地域住民や潜在的な参加者への情報提供を積極的に行っているそうです。また、事業の周知にあたっては、ホームページのトピックス欄への掲載に加え、施設への看板設置、ポスター掲示やチラシの配布、市報への掲載など、複数の広報手段を組み合わせて情報発信を工夫しているとのことでした。

■その他

令和 8 年度にクラブ設立 50 周年を迎えるにあたり、記念事業や広報活動の強化を視野に入れ

た取り組みを検討中のようです。

■所感

地域に根付いた総合型地域スポーツクラブとして、活動が定着しているように思いました。くじ助成金の活用によるクラブの課題解決をはじめ、自主事業を通じても民間企業や地域との連携を主体的に進めている様子が伺えました。また、自治体との連携による部活動の地域移行に関する対応についても、積極的に取り組んでいきたいという意思が示されており、スポーツを通じた交流や地域の活性化に対して非常に前向きな姿勢が印象的でした。

今後も、これまでの歩みを礎に、地域に根差した活動をさらに発展させていくことを期待しています。

（令和 7 年 9 月 26 日往査）

（写真）アプルスゴルフライフコース体験会の様子	
	